

令和6年度事業報告

1 令和6年度事業実施状況について

I 基本方針

当財団の設立目的である三陸地域及びその周辺地域の振興を図るため、東日本大震災津波発災以降、復旧・復興に重点的に取り組んできたところであるが、令和6年度は、三陸地域及びその周辺地域の振興のため、市町村や関係団体等との一層の連携強化を図り、次の事項を重点的に取り組んだ。

- ・地域課題の解決に取り組み、地域振興につながる事業の推進
- ・地域マーケティング・マネジメントに基づく、交通ネットワークや地域資源を活用した観光地域づくりの推進
- ・三陸地域の振興に資する調査研究や活動への支援

II 事業別の実施状況

1 調査研究等事業

1 三陸地域の観光地域づくり体制の整備 DMO事業部

〔目 的〕

三陸地域の振興のため、観光関連事業者と連携を図り地域一体となった三陸地域の観光地域づくりを推進する。

〔実施状況〕

三陸地域の宿泊事業者等との意見交換会を実施するなど、観光地域づくり関係者との連携強化による受入態勢整備に取り組んだ。

〔実績額〕

10,124,104 円

〔主な成果〕

地域の観光関連事業者等との連携、情報共有等を図り、令和6年度から新たに三陸観光商談会やみちのく潮風トレイル岩手エリアアンケート調査を実施するなど、三陸地域の観光地域づくりを推進した。

〔今後の展開〕

引き続き、三陸地域の観光地域づくり関係者との連携による受入態勢整備に取り組むとともに、三陸地域の観光情報を発信し、三陸地域での観光地域づくりを推進する。

2 三陸地域におけるマーケティング調査 DMO事業部

〔目 的〕

英紙タイムズで紹介されるなど、欧米を中心に「みちのく潮風トレイル」への関心が高まっており、この機を生かした情報発信や受入態勢の強化を図る必要があることから、来訪者の属性や動向、受入態勢に関するニーズなどのデータ収集により受入態勢整備を推進する。

〔実施状況〕

実施期間：令和6年7月末～

回答方法：沿岸地域の観光施設等約 60 か所に設置した二次元コードを読み取り、
Google フォームから回答

対応言語：日本語、英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語

公表概要：令和 7 年 3 月 27 日公表（令和 7 年 3 月 15 日集計時点）

回 答 数：191 件（日本語 168 件、英語 23 件）

(1) 日本語回答の概要

- ・居住地：岩手県内が 4 割、東北地方全体で 7 割近い割合を占める。
- ・年齢層：40～60 代が全体の 7 割程度を占める。
- ・トレイル歴：1 年以内と回答した人が 4 割を超えている。
- ・日帰り客が 4 割近くを占めている。

(2) 英語回答の概要

- ・居住地：オセアニア、欧米が中心となっている。
- ・年齢層：30 代が半数を占めている。
- ・トレイル歴：6 年以上と回答した人が 6 割を超えている。
- ・宿泊施設への宿泊数は 6 泊以上が 4 割を占めている。

〔実 績 額〕

123,181 円

〔主な成果〕

アンケート結果については、各市町村をはじめ、各地域のDMO、観光協会、アンケートを設置する観光施設等に月次レポートを共有した他、令和 7 年 3 月には年間レポートを公表した。アンケート結果のフィードバックや地域課題の共有により、関係者との更なる連携を図り、三陸地域の一体的な観光地域づくり体制の構築を推進した。

〔今後の展開〕

来訪者のニーズの把握を行うためには継続したデータ収集が必要であることから、令和 7 年度もアンケートを実施するとともに、旅行会社のニーズを把握する。

3 三陸地域のマネジメントによる受入態勢基盤の整備 DMO 事業部

〔目 的〕

三陸観光プランナーや三陸地域の事業者が持つコンテンツ等の販路拡大を図るとともに、三陸地域の特色を生かした観光地域づくりの推進に向けた機運醸成を図る。

〔実施状況〕

○三陸観光商談会の開催

三陸観光プランナーや三陸地域の観光事業者等が実施する観光体験コンテンツや宿泊施設に係る商品情報を首都圏の旅行会社に提案するとともに、三陸観光プランナーや事業者相互のネットワーク化を促進することにより、新たな観光商品の造成を図ることを目的に三陸観光商談会を開催した（三陸海岸魚彩王国実行委員会に委託により実施）。

日 付：令和 6 年 11 月 6 日（水）

場 所：三陸花ホテルはまぎく

参加者：バイヤー（首都圏の旅行会社） 6 社

セラー（三陸観光プランナー等） 24 名



三陸観光商談会の様子



三陸観光コンテンツ体験の様子

○「三陸観光フォーラム 2024」の開催

「みちのく潮風トレイル」、三陸鉄道、三陸ジオパークなどの三陸地域の特色を生かした観光地域づくりの推進に向けた機運醸成を図るため、有識者や地域の観光関係者等が参加する「三陸観光フォーラム 2024」を開催した。

日 付：令和6年12月14日（土）

場 所：久慈市総合福祉センター

参加者：観光関係事業者、行政関係者、地域住民 62名



三陸観光フォーラム 2024 の様子

〔実績額〕

945,869円

〔主な成果〕

令和6年度新たに取り組んだ商談会の実施を通じて、自然や食、体験等、地域一体となったPRを行うことで事業者の販路拡大の取組に寄与した。また、旅行会社の反応を受け、更なるコンテンツの磨き上げに向けたきっかけとなった。

観光地域づくりの専門家による基調講演や地元の観光団体の代表者によるパネルディスカッションを行うことで、広域連携による観光地域づくりの意識醸成の推進や地域の連携強化にもつながる取組となった。

〔今後の展開〕

引き続き、三陸観光プランナーや三陸地域の事業者が持つコンテンツ等の販路拡大を図るため、旅行会社等との商談会を実施し三陸地域の旅行商品造成、販路拡大を支援する。なお、商談会実施にあたっては、みちのく潮風トレイルをはじめとするインバウンド向けの旅行商品を取り扱う旅行会社も新たに対象とすることで、近年増加す

る三陸へのインバウンド客のさらなる誘客拡大を図る。

4 三陸地域の観光情報等の発信 DMO事業部

〔目的〕

三陸地域ならではの観光資源や体験コンテンツ等を生かし、三陸地域一体となった広域でのプロモーションを実施するとともに、国内外に向けた三陸地域の観光情報を発信する。

〔実施状況〕

復興ツーリズムを中心とする教育旅行に係る情報を発信し、三陸地域ならではの観光資源や体験コンテンツを活用した教育旅行の誘致に向けて、公益財団法人岩手県観光協会が主催する大都市圏での教育旅行商談会（令和6年8月22日（木））へ参加したほか、いわて観光キャンペーン推進協議会と連携し、日本最大級の観光イベントの1つである「ツーリズムEXPOジャパン2024」（令和6年9月26日（木）、27日（金））に東北観光推進機構及びJR東日本の合同ブースに参加し、三陸地域の観光情報を発信するとともに、観光コンテンツの旅行会社等との商談を実施した。

また、三陸観光ポータルサイト「さんりく旅するべ～いわて三陸観光ガイド～」により、観光ルート、観光施設、宿泊施設、体験プログラム、食、土産、イベント等の三陸地域の観光情報を国内外に向けて一元的に発信した（サイトアクセス数：657,641pv（R6年4月～R7年3月））。

〔実績額〕

616,945 円

〔主な成果〕

三陸地域ならではの観光資源や体験コンテンツ等を首都圏の旅行会社等に対して広く発信することができた。また、ポータルサイトでは、イベント情報とモデルルートの紹介ページへのアクセスが最も多くなっており、三陸地域に興味を持つ人々に向けて、訪問に当たっての具体的な情報を提供することができた。

〔今後の展開〕

三陸地域における交流人口拡大及び観光消費額の拡大に向け、情報発信のみならず観光商品の販路拡大、受入態勢整備の促進を行うため、旅行会社等との商談会を実施し三陸地域の旅行商品造成、販路拡大を支援する。

5 三陸総合振興に係る調査・研究 企画事業部

〔目的〕

三陸地域の総合的な振興に向けてさんりく基金のあり方も含めた検討を進める。

〔実施状況〕

新たな三陸地域の総合的な振興体制の整備に向けて、みちのく潮風トレイルの利活用に関して、先進事例である和歌山県の熊野古道の視察及び一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー等へのヒアリング等を実施した。

〔実績額〕

290,408 円

〔主な成果〕

実際に一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューローが提供しているガイドツアー

を利用して体験し、ヒアリングを行ったことで、手配から実施までの流れ、運営方法、自治体や地域との連携等について把握することができた。

〔今後の展開〕

三陸地域のみちのく潮風トレイルに係る新たなサービスの展開や、既存サービスの広域的な普及を図る仕組みの構築に向け、地域関係者等からなる調査推進体制の整備、特設ページ作成による一元的な情報発信、ファムツアー等を実施する。

2 人材育成事業

1 三陸地域における観光人材の育成 DMO事業部

〔目 的〕

三陸地域の観光地づくりに資するため、観光関係者の連携の推進、着地型旅行商品づくりを担う人材育成を図る。

〔実施状況〕

増加する訪日外国人旅行者の三陸地域での受入態勢強化に向けて、これまで養成した三陸観光プランナーのインバウンド対応に係るスキルアップやインバウンド客を対象とした観光コンテンツの造成に係る理解促進のためスキルアップセミナーを開催するとともに、三陸観光プランナー相互のネットワーク強化を図るための意見交換会を実施した。

〔実績額〕

85,786 円

〔主な成果〕

	開催日時	開催地	主な内容
第1回	令和7年2月5日(水)	大船渡市	インバウンド客を対象とした観光コンテンツの造成と三陸の可能性についての講演とワークショップを実施 参加者：9名（ほかオブザーバー9名）
第2回	令和7年3月10日(月)	宮古市	インバウンド客受入れのための現地対応についての講演とワークショップを実施 参加者：8名（ほかオブザーバー3名）

〔今後の展開〕

三陸地域の観光地域づくり推進へ向けて、高い商品企画力と旅行商品化に向けた実践力を備えた三陸観光プランナーの育成、スキルアップを行うため、商品造成や磨き上げ、販売強化に係るセミナーを開催する。さらに、地域の関係者と連携したプログラム造成や、観光人材の育成成果の実証の場ともなる旅行会社との商談会での提案を行う機会を設定する等、三陸地域における観光人材の更なる育成を進める。

2 三陸地域の地域振興担い手人材の育成 企画事業部

〔目 的〕

三陸地域の観光振興及び地域振興に資する人材の育成を図るとともに、三陸地域の振興に資する関係団体の事業を支援し、活動促進を図る。

〔実施状況〕

地域人材育成セミナー「観光地域づくりセミナー」を開催(令和7年2月25日(火))し、みちのく潮風トレイルや震災・防災学習を活用した誘客及び周遊促進による地域

づくりを図るため、震災・防災学習実施団体及び地域DMO等の事業者を対象に、観光マーケティングについての講義及び意見交換を行った。

〔実績額〕

134,640 円

〔主な成果〕

株式会社トラベルジップから講師を迎えて開催した。参加者数 7 名。開催後の参加者アンケートでは、「観光商材と客層」、「復興ツーリズムの他県事例」の内容を高く評価する回答が多かった。

〔今後の展開〕

三陸DMOセンターと一体となって、三陸地域の観光振興及び地域振興に資する人材の育成を図る。

3 三陸ジオパークの活動の推進 企画事業部

〔目的〕

三陸ジオパークの担い手となる地域住民ガイドを養成するため三陸ジオパーク推進協議会に負担金を拠出し、三陸ジオパークの活動を推進する。

〔実施状況〕

三陸ジオパーク推進協議会において、令和 6 年 7 月から 12 月にかけて認定ガイドの養成講座を開催し、各地の震災伝承ガイド等 36 名が参加した。

〔実績額〕

200,000 円

〔主な成果〕

令和 6 年度は、認定ガイド 7 名が新規登録され、令和 6 年度末時点での認定ガイド登録者数は 68 名となった。

〔今後の展開〕

引き続き、三陸ジオパークの担い手として、その魅力を発信できる認定ガイドの養成を支援し、三陸ジオパークの活動を推進していく。

3 助成事業

1 調査研究事業 総務管理部

〔目的〕

大学・研究機関等の知的資源を生かした三陸地域の振興に資するための実用性・事業性の高い研究事業への助成を行い、その調査研究成果の普及啓発等により、三陸地域の地域資源を活用した研究・開発の促進を図る。

〔実施状況〕

- (1) 助成件数 5 件（助成総額 4,665,000 円）（別添資料 1 参照）
（※申請件数 6 件／採択件数 5 件）
- (2) 機関誌「三陸総合研究」第 49 号の発行（300 部、10 月発行）
- (3) 成果報告会の開催（令和 6 年 12 月 11 日（水） 参加者 46 名（於：宮古地区合同庁舎））

2 新商品・地域サービス開発事業 総務管理部

〔目 的〕

地域の農林水産物や観光資源などの特性を生かした新商品開発や国内外からの観光誘客促進に向けた受入態勢の整備及び地域課題の解決に向けたサービスの開発等にかかる経費に対する助成を行う。

〔実施状況〕

助成件数 12 件（助成総額 3,878,000 円）（別添資料 2 参照）

（※申請件数 18 件／採択件数 13 件のうち中止 1 件）



PATISSERIE FIERTE



合同会社ぶらり気仙



Village Farm 新里



小豆嶋漁業株式会社

3 イベント開催事業 総務管理部

〔目 的〕

三陸地域の活性化及び交流人口の拡大に向けたイベント（震災復興に資する取組、また三陸地域として広域的波及効果がみられる取組と認められるもの）の開催経費に対する助成を行う。

〔実施状況〕

助成件数 2 件（助成金額 7,947,000 円）（別添資料 3 参照）

（※申請件数 2 件／採択件数 2 件）



三陸ジオパーク推進協議会



一般社団法人三陸まちづくりART

(資料 1) 令和 6 年度調査研究事業 (5 件) 実績一覧

	申請者名 (代表者「◎」)	タイプ	事業名	助成金額 (円)
1	学校法人岩手医科大学	I	被囊軟化症抵抗性ホヤの育種選抜に向けた耐病性遺伝要因の探索	1,000,000
2	国立大学法人岩手大学	I	生物の重要分子を活性化する久慈産琥珀抽出物配合機能性表示食品への挑戦	1,000,000
3	◎学校法人岩手医科大学 公立大学法人岩手県立大学	I	行動変容を促す“三陸版カムカム健康プログラム”の開発と推進事業	932,000
4	国立大学法人岩手大学	I	三陸産ナマコの原料特性に基づいた高付加価値商品の開発	917,000
5	独立行政法人国立高等専門学校機構 一関工業高等専門学校	I	栄養補助飲料としてのノンアルコールビールの開発を目的としたさんりく産牡蠣の利活用	816,000
			合計	4,665,000

※タイプ I …大学等研究機関が実施する調査研究事業

タイプ II …大学等研究機関と事業者が連携して実施する調査研究事業

(資料2) 令和6年度新商品・地域サービス開発事業(12件) 実績一覧

	事業者名	事業者所在地	事業概要	助成金額 (円)
1	有限会社夏井建築	軽米町	岩手木材の3R事業～岩手木材を「生かす技術」からの転換「活かす技術」へ～(まな板、カッティングボード、鍋敷きの開発)	242,000
2	合同会社プロダクション未知カンパニー	久慈市	高校生の想いを形に!産・官・学・民で未来へ受け継ぐ日本一の白樺美林(「白樺のめぐみしいたけ佃煮」の開発)	296,000
3	株式会社アースカラー	普代村	古くて新しい包装材「経木」で森とひとをつなぐ(「経木」および「経木フラワー」の開発)	364,000
4	PATISSERIE FIERTE	田野畑村	田野畑村産の食材を使用した焼き菓子商品「くるみのシフォンケーキ」、「クッキー3種(わかめ、白仙、山ぶどう)」の開発	315,000
5	佐々研山葵農園	岩泉町	岩泉町のわさびを使った新商品「本わさびパウダー」「ホヤわさび」の開発	258,000
6	Village Farm新里	宮古市	規格外野菜(ブロッコリー)を活用した漬物商品「ぱくぱく畑」開発及びブランディング	484,000
7	岩手アカモク生産協同組合	山田町	地域資源(アカモク)を活用した高保湿スキンケア用品「darling(アカモクエキス入りハンドソープ、化粧水、美容液、美容パック)」の開発	176,000
8	ひので庵弥栄	大槌町	三陸わかめを纏った明治生まれ祖父伝授「無添加・香ばし骨太健康ふりかけ」の開発(商品名「そのまんまふりかけ」)	328,000
9	小豆嶋漁業株式会社	大槌町	三陸産の水産物及び魚種交代により水揚げ量が増えている魚を利用したミールキットとなる新商品「三陸産のアレンジいろいろ簡単調理キット」開発 (①三陸若布とちくわの和え物、②三陸昆布とだいこんの煮物、③サーモンのバター醤油焼き、④三陸ぶりの南蛮漬)	500,000
10	釜石ヒカリフーズ株式会社	釜石市	釜石はまゆりサクラマスの新商品「釜石はまゆりサクラマスのちゃんちゃん焼き」開発	191,000
11	元正榮 北日本水産株式会社	大船渡市	インバウンド向けのお土産商品「韓国風あわび粥」開発	235,000
12	合同会社ぶらり気仙	陸前高田市	世界三大漁場三陸沖広田湾産の日本最高級の牡蠣カレーパン「広田湾牡蠣カレーパン 牡蠣まみれ」開発	489,000
			合計	3,878,000

(資料3) 令和6年度イベント開催事業(2件) 実績一覧

	事業者名	事業者 所在地	事業名	イベント 開催地	助成金額 (円)
1	三陸ジオパーク推進協 議会	宮古市	インバウンド誘致に向けたジオ パークの魅力発信事業 (シンポジウムの開催、インバウ ンド向けモニターツアーの実施、 三鉄40周年記念ジオトレインの催 行)	陸前高田市他	2,150,000
2	一般社団法人三陸まち づくりART	大船渡市	三陸ブルーラインプロジェクト 「タイムトラベラー祭」 (宮古市と大船渡市の公園や防潮 堤を活用した、地元郷土芸能と参 加型のアドベンチャーゲーム(謎 解き、宝探し)の開催、防潮堤タ イルアート展示のためのワーク ショップ開催)	大船渡市 宮古市他	5,797,000
				合計	7,947,000

2 令和6年度庶務事項

(1) 評議員・役員構成

(令和6年度末、五十音順)

役 職	氏 名	兼職状況
評 議 員	菊 池 透	岩手県商工会議所連合会専務理事
評 議 員	桐 田 教 男	宮古市副市長
評 議 員	澤 里 充 男	久慈市副市長
評 議 員	引屋敷 努	大船渡市副市長
評 議 員	平 松 福 壽	釜石市副市長
評 議 員	水 野 雅 裕	岩手大学研究支援・産学連携センター長
評 議 員	村 上 宏 治	岩手県ふるさと振興部長
代 表 理 事	佐々木 淳	岩手県副知事
業務執行理事	中 野 文 男	岩手県ふるさと振興部部付
業務執行理事	松 本 淳	岩手県ふるさと振興部副部長兼県北・沿岸振興室長
理 事	青 山 潤	東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センター長
理 事	天 野 勝 文	北里大学海洋生命科学部長
理 事	石 川 義 晃	三陸鉄道株式会社代表取締役社長
理 事	佐々木 安 彦	岩手県漁業協同組合連合会専務理事
理 事	田 中 宣 廣	岩手県立大学宮古短期大学部長
理 事	飛知和 比呂志	一般社団法人日本旅行業協会東北支部岩手県地区委員会委員長
理 事	宗 形 金 吉	岩手県商工会連合会専務理事
監 事	及 川 崇	一般社団法人岩手県銀行協会常務理事兼事務局長
監 事	佐 藤 修	岩手県町村会参与兼事務局長

(2) 会議等開催状況

年月日	記 事
R6. 4. 1	理事会（決議省略） 第1号議案 業務執行理事の選定について ・松本淳氏を業務執行理事に選定 第2号議案 評議員会の議事に付すべき事項について ・評議員 熊谷泰樹氏、理事 八重樫幸治氏及び熊谷敏裕氏の辞任に伴い、後任評議員及び理事の候補者（村上宏治氏、佐々木淳氏、宗形金吉氏）を決定
4. 10	評議員会（決議省略） 第1号議案 評議員の選任について ・村上宏治氏を評議員に選任 第2号議案 理事の選任について ・佐々木淳氏及び宗形金吉氏を理事に選任

4. 10	理事会（決議省略） 第 1 号議案 代表理事の選定について ・ 佐々木淳氏を代表理事に選定
4. 24	変更登記
4. 30	令和 6 年度イベント開催事業審査委員会（於：岩手県水産会館）
5. 13	本監査（於：岩手県議会棟）
5. 23	令和 6 年度調査研究事業審査委員会（於：エスポワールいわて）
5. 24	第 1 回理事会（於：北ホテル） 報告事項 1 職務執行の状況について 第 1 号議案 公益財団法人さんりく基金財務規程の一部改正について 第 2 号議案 令和 5 年度事業報告及び附属明細書の承認について 第 3 号議案 令和 5 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について 第 4 号議案 令和 6 年度第 1 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
6. 11	第 1 回評議員会（於：岩手教育会館及び Web 会議システム） 報告事項 1 職務執行の状況について 第 1 号議案 令和 5 年度事業報告及び附属明細書の承認について 第 2 号議案 令和 5 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について 第 3 号議案 理事の選任について ・ 田中宣廣氏を理事に選任
6. 14	令和 6 年度第 1 回新商品・地域サービス開発事業審査委員会（於：岩手県庁）
6. 28	変更登記（理事の変更）
7. 18	理事会（決議省略） 第 1 号議案 評議員会の議事に付すべき事項について ・ 理事 後藤均氏及び菅野信弘氏の辞任に伴い、後任理事の候補者（佐々木安彦氏及び天野勝文氏）を決定
7. 31	評議員会（決議省略） 第 1 号議案 理事の選任について ・ 佐々木安彦氏及び天野勝文氏を理事に選任

8. 7	変更登記（理事の変更）
8. 27	令和 6 年度第 2 回新商品・地域サービス開発事業審査委員会（於：岩手県議会棟）
11. 6～7	令和 6 年度三陸観光商談会（於：三陸花ホテルはまぎく）
12. 11	令和 6 年度調査研究事業研究成果報告会（於：宮古地区合同庁舎）
12. 14	三陸観光フォーラム 2024（於：久慈市総合福祉センター）
R7. 1. 23	第 2 回理事会（於：エスポワールいわて及び Web 会議システム） 報告事項 1 職務執行の状況について 第 1 号議案 令和 7 年度事業計画及び収支予算等について 第 2 号議案 公益財団法人さんりく基金事務局組織規程の一部改正について 第 3 号議案 公益財団法人さんりく基金職員就業規程及び公益財団法人さんりく基金育 児・介護休業規程の一部改正について 第 4 号議案 令和 6 年度第 2 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
2. 5	令和 6 年度第 1 回三陸観光プランナー養成塾（於：ニューオキライ）
2. 6	第 2 回評議員会（於：岩手教育会館及び Web 会議システム） 報告事項 1 職務執行の状況について 第 1 号議案 令和 7 年度事業計画及び収支予算等について
3. 10	令和 6 年度第 2 回三陸観光プランナー養成塾（於：浄土ヶ浜ビジターセンター）
3. 24	理事会（決議省略） 第 1 号議案 令和 7 年度事業計画の変更及び収支予算（補正第 1 号）について ・県負担金事業等の追加に伴う予算額の増額を承認 第 2 号議案 重要な使用人の選任について ・事務局長及び三陸DMOセンター長を選任 第 3 号議案 公益財団法人さんりく基金代決専決規程等の一部改正について 第 4 号議案 評議員会の議事に付すべき事項について ・理事 松本淳氏及び中野文男氏の辞任に伴い、後任理事の候補者（熱 海淑子氏及び中嶋英俊氏）を決定
3. 28	評議員会（決議省略） 第 1 号議案 令和 7 年度事業計画の変更及び収支予算（補正第 1 号）について ・県負担金事業等の追加に伴う予算額の増額を承認 第 2 号議案 理事の選任について ・熱海淑子氏及び中嶋英俊氏を理事に選任

3 基本財産造成状況等

1 基本財産造成状況（令和7年3月31日現在）	335,400,000 円
（1）県	230,000,000 円
（2）市町村	100,000,000 円
（3）民間企業団体等	5,400,000 円

市町村別出捐内訳

（単位：千円）

市町村名	出捐金額	市町村名	出捐金額	市町村名	出捐金額
大船渡市 （うち旧大船渡市分） （うち旧三陸町分）	10,900 (7,300) (3,600)	宮古市 （うち旧宮古市分） （うち旧田老町分） （うち旧新里村分） （うち旧川井村分）	19,000 (10,000) (3,100) (2,900) (3,000)	久慈市 （うち旧久慈市分） （うち旧山形村分）	10,400 (7,500) (2,900)
陸前高田市	6,100			普代村	2,900
住田町	3,400			野田村	3,100
釜石市	9,200	山田町	5,400	洋野町 （うち旧種市町分） （うち旧大野村分）	7,800 (4,500) (3,300)
大槌町	4,900	岩泉町	4,400		
遠野市 （うち旧遠野市分） （うち旧宮守村分）	9,400 (6,200) (3,200)	田野畑村	3,100		
		合 計			100,000

民間企業・団体等出捐内訳（名称は出捐当時）

・三陸地域金融機関取りまとめ 幹事 岩手県銀行協会 （岩手銀行、東北銀行、北日本銀行、みちのく銀行、盛岡信用金庫、 宮古信用金庫、一関信用金庫、花巻信用金庫）	2,000 千円
・新日本製鐵株式會社釜石製鐵所	1,000 千円
・東北電力株式会社岩手支店	1,000 千円
・日本電信電話株式会社盛岡支店	1,000 千円
・久慈商工会議所	100 千円
・宮古商工会議所	100 千円
・釜石商工会議所	100 千円
・大船渡商工会議所	100 千円

民間企業・団体等計 5,400 千円

2 基本財産評価損益（令和7年3月31日現在）	2,703,576 円
-------------------------	-------------

基本財産合計額 338,103,576 円

4 事業報告の附属明細書の作成について

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和7年5月

公益財団法人さんりく基金